

英語文法 攻略シート

過去形

- ◇Be動詞
is, am → was / are → were
- ◇一般動詞 → Ved(過去形)
(肯定) S + Ved ...
(否定) S + didn't ...
(疑問) Did + S + V ... ?

現在完了

- 過去 → 現在までのようすを表す
『ずっとしていた』『したことがある』『すでにした』
- 【原則】 have + Ved (過去分詞)
(肯定) S + have + Ved ...
(否定) S + have not + Ved ...
(疑問) Have + S + V ... ?
- never: 一度もない
ever: 今までに
just: ちょうど
since: ~からずっと
for: ~の間
already: すでに
yet: すでに(否/疑)

『S』は主語。『OOが』『OOは』の部分
『V』は動詞。『OOします』『OOです』の部分
S・Vを制するものが英語を制す!

未来

- ◇Willの文
(肯定) S + will + V(原形) ...
(否定) S + will not + V ...
(疑問) Will + S + V ... ?
- ◇Be going toの文
【原則】 Be動詞 + going to + V(原形)
否定文や疑問文はBe動詞の文と同じ

現在形

どちらの文を使うかを決めましょう。いっしょには使えません。

Be動詞の文 状態や様子を表す。『～です』『～だ』

現在形のBe動詞 → is, am, areの3つだけ
セットになるBe動詞は覚えましょう。

- 私(1人称) : I → am
- あなた(2人称) : you → are
- その他(3人称)の単数: (he, she, Tom) → is
- 複数(2つ以上の物や人) : (they, we) → are

- (肯定) S + Be動詞 ...
- (否定) S + Be動詞 + not ...
- (疑問) Be動詞 + S ... ?

進行形の文

- 『(今)～している』
- 【原則】 Be動詞 + Ving(現在分詞)
(肯定) S + Be動詞 + Ving ...
(否定) S + Be動詞 + not + Ving ...
(疑問) Be動詞 + S + Ving ... ?

これらの2つの文はBe動詞と一般動詞をいっしょに使っているわけではありません。
VingやVedのように動詞はカタチを変えることで様子を表す言葉に変わります。
あくまでもBe動詞の文なので、Doやdidn'tを使わないように。

受け身の文

- 『～される』
- 【原則】 Be動詞 + Ved(過去分詞)
(肯定) S + Be動詞 + Ved ...
(否定) S + Be動詞 + not + Ved ...
(疑問) Be動詞 + S + Ved ... ?

一般動詞の文 動作や行動を表す。『～します』『～する』

一般動詞はたくさんあります。
(do, play, run, study, walk, get, go...)

- (肯定) S + V + ...
- (否定) S + don't + V + ...
- (疑問) Do + S + V + ... ?

英語の語順の基本は
主語 → 動詞 → 目的語(～を) → 場所 → 時
日本語をその語順で表してみましょう。
例) 私 → する → サッカー → 校庭で → 6時に



三単現の文

主語がIとyou以外の1人のときは特別!

動詞のおしりに「s」をつけましょう。
否定文や疑問文はdoesn'tやDoesに「s」がついているので動詞にはそれ以上つける必要ありません。

- (肯定) S + Vs + ...
- (否定) S + doesn't + V + ...
- (疑問) Does + S + V + ... ?

命令文

「しなさい」 【基本】動詞からはじめる(主語はいらない) 例) Study math. / Be quiet. (is, am, areはすべてbeではじめる) Don't + 動詞「してはいけない」 Let's + 動詞「いっしょにしましょう。」

名詞

a book, books, the book, my bookなど
ふさわしいカタチに変えましょう。

- ◆複数形...名詞のおしりに「s」をつける。
- ◆theの使い方... どれをさしているかわかるときはtheを使う。the pen → そのペンが相手にもわかる。どのペンが迷うことはない。theは単数にも複数にも付けられる。myとかyourがあるときはtheはつけない。
- ◆someとany... 「いくつかの」という意味。
否定文や疑問文ではanyを使う。

疑問詞 【原則】文のあたまにつける

- what : 何
 - who : 誰
 - whose : 誰の
 - which : どちらの
 - when : いつ
 - where : どこ
 - why : なぜ
 - how : どのように
 - how old : 何才
 - how many : いくつの
 - how much : いくら(金額)
 - how tall : どれくらいの身長
 - how long : どれくらいの長さ
- ◆「疑問詞+名詞」になることも。
Which bags do you want ?
どのバッグ → 日本語と同じように「どの」と「バッグ」はセットにする

仮定法 【原則】If + S + Ved(過去)、S + would/could + ...

『もし...だったら～なのになあ』

仮定法の場合、Be動詞の過去形はすべてwereを使う。

would: するのになあ could: できるのになあ should: すべきなのになあ

If we had enough money, we could buy a new house.
『お金がたくさんあれば、新しい家を買えるのになあ。』

◆ I wish を使った表現【原則】 I wish + S + Ved(過去) ...

I wish I were a bird. 『鳥だったらいいのに』
I wish I could fly in the sky. 『空を飛べたらいいのに』

後置修飾

英語は説明を後ろに置きます

関係代名詞 説明したい語句が人 → who、物 → which を置く

He is a boy **who** plays soccer well.
This is a cake **which** I made.

SV修飾

説明したい名詞の直後にS+Vで追加の説明を書く

He is a boy **I met** yesterday. (関係代名詞の省略)
= He is a boy **who I met** yesterday.

分詞修飾 Ving(現在分詞) → 「している」 Ved(過去分詞) → 「された」

The boy **playing** soccer there is my brother.
「そこでサッカーをしているのは私の弟だ」
The picture **drawn** by him is nice.
「彼によって描かれた絵は素敵だ。」

◆ I 語のときは前におく。(形容詞と同じように扱う)
The **crying** baby is brother.
「泣いている赤ちゃんは私の弟です。」
The **stolen** bag is mine.
「盗まれたバッグは私のものだ。」

代名詞

まずはしっかり覚えましょう!

主格(～は)	所有格(～の)	目的格(～を)	所有代名詞(のもの)
I	my	me	mine
you	your	you	yours
he	his	him	his
she	her	her	hers
we	our	us	ours
they	their	them	theirs

助動詞

- 【原則】 助動詞 + V(原形)
(肯定) S + 助動詞 + V ...
(否定) S + 助動詞 + not + V ...
(疑問) 助動詞 + S + V ... ?

- can: できる、しても良い
- be able to: できる
- will: するつもり
- must: しななければならない
- must not: してはいけない
- have to: する必要がある
- may: しても良い
- should: すべき
- Shall I ~ ? : (私があなたに)～しましょうか。
- Shall we ~ ? : 一緒に～しませんか。

動名詞 【原則】動詞にingをつける

go (動詞) → 行く
going(動名詞) → 行くこと

不定詞 【原則】to + 動詞の原形

- ◆名詞的用法『～すること』
I like to sing. 「歌うことが好き」
I want to sing. 「歌いたい」
- ◆形容詞的用法『～するための/すべき』
something to drink 「飲むための何か」
homework to do 「すべき宿題」
- ◆副詞的用法『～するために/理由/結果』
I go to library to read books. 「本を読むために」
I am glad to see you. 「あなたに会えて(理由)」
I studied to be a doctor. 「医者になった(結果)」

動名詞と不定詞の使い分け

両方とも『～すること』を表すことができるが、どちらでも良いというわけではない。

【原則】不定詞 → 未来、動名詞 → 今より過去

- ◆不定詞しか使えない動詞
want, hope, wish... など。
『したい』『望む』はこれからの未来のこと
- ◆動名詞しか使えない動詞
enjoy, finish, mind... など。
未来のことを『楽しむ』『終える』ことはできない。
- ◆動名詞と不定詞で意味が変わる動詞
remember [動名詞] ～したことを覚えている
[不定詞] ～することを覚えている
forget [動名詞] ～したことを忘れる
[不定詞] ～することを忘れる
他にtry, stop, needなどがある。
- ◆動名詞と不定詞の両方使える[不定詞]
like, start, begin など